

第 17 回教師 & 専門家のための **問題行動研修会**  
『個々の状況に応じた対応と未然防止・早期発見・早期対応をめざして』

学校長 様  
諸機関・諸施設長様  
教育相談・生徒指導ご担当様  
養護教諭・スクールカウンセラー・心の教室相談員様

**教師&専門家のための問題行動研修会について(お願い)**

特定非営利活動法人教育研究所の研修会も今年で 17 年目を迎えます。昨年は全国から 610 名の参加者があり、大変好評をいただきました。今年も引続き、文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会（全国都道府県教育長協議会・全国都道府県教育委員長協議会の連合会）の後援で【第 17 回教師&専門家のための問題行動研修会】を開催致します。

幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生だけでなく、子ども達に係わる全ての先生が参加出来るように配慮してあります。また、児童相談所の相談員、福祉関係、児童生徒の問題行動（不登校・暴力行為・いじめ・児童虐待・高校中退等）を抱えた児童生徒の自立支援にかかわる仕事をされている専門家を対象に行います。講師の先生は実際に様々な問題行動を深く理解し、それぞれの専門分野で活躍されている我が国を代表する先生をお招きしております。

受講される皆様が問題行動などを取り巻く様々な子どもの行動を理解し、対応方法を多方面にわたって学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

是非、これらの問題に取り組んでいる先生にご参加頂きたく、ご回覧などのご配慮をお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 教育研究所理事長 牟田 武生

**開催主旨**

「不登校・暴力行為・いじめ・児童虐待・高校中退」など、様々な問題行動を抱える子どもをいかに支え、自立支援していけば良いのかが、学校教育上の大きな課題になってきました。そこで、今年度から「不登校問題研修会」の名称を「問題行動研修会」に変更し、学級運営のありかたを含め、広く深くこれらの問題を考えていきます。

不登校児童・生徒数は教育機関を含め関連機関の対策や努力の結果、平成 14 年度から全国的に人数及び出現率に於いても減少に転じました。しかし、まだ、予断を許さない状況にあります。不登校児童・生徒から社会的ひきこもりや NEET の若者まで、年齢層の幅の広がりとともに様々な状態の人が存在し、多様な様相を示して来ています。

不登校は“学校を 30 日以上欠席している”という現象ですが、その中には児童虐待・いじめ・暴力行為・高校中退・学習の遅れ・友達や先生との人間関係・子ども自身の心の問題・親子関係等、様々な問題が含まれています。不登校問題に対処する時、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広範囲の領域において様々な対応が必要となります。しかし、残念ながら、一領域の対応が現在まだ中心なために必ずしも効果的ではありません。総合的かつ連携的な取り組みへの理解者及び援助者の育成が急務になってきております。

そこで 17 年目の今年度は『個々の状況に応じた対応と未然防止・早期発見・早期対応をめざして』をテーマにして、今日の教育課題「問題を抱える子どもなどの自立支援」の問題を参加者の皆様と一緒に考えていきます。また、今年度は不登校という状態像の中でも、幼児期からの様々な問題行動・LD・ADHD・高機能自閉症の状態を示す、子どもへの対応のあり方を含めて、多くの専門家によってアプローチしていきます。また、より深くカウンセリングのスキルアップを図るために昨年度、大変好評だった国立女性教育会館でのワークショップセミナーも開催します。

幼児教育、生徒指導、養護、相談室の先生だけでなく、子ども達に係わる全ての先生が参加出来るように配慮してあります。また、児童相談所の相談員、児童館職員、福祉関係など不登校・ひきこもりや軽度発達障害にかかわる領域で仕事されている専門家を参加対象に行います。

講師の先生は実際の不登校児童・生徒及び軽度発達障害等のそれぞれの専門分野で活躍する我が国を代表する先生をお招きしております。

受講される皆様が不登校や LD・ADHD・高機能自閉症に関する理解と取り組み（対応）を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

主 催 特定非営利活動法人 教育研究所  
後 援 文部科学省・全国都道府県教育委員会連合会・教育新聞社  
後援期間 平成 19 年 8 月 23 日(木)まで

## 開催要項

☆東京会場（全体講義）：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟大ホール・小ホール  
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

日時 平成19年7月30日（月）～8月3日（金）

受講費	5日受講	30,000円（学生15,000円）	4日受講	25,000円（学生12,000円）
	3日受講	20,000円（学生10,000円）	2日受講	16,000円（学生8,000円）
	1日受講	8,000円（学生8,000円）		

定員 700名

☆埼玉会場（ワークショップ）：国立女性教育会館（埼玉県比企郡嵐山町菅谷728）

日時 平成19年8月22日（水）・8月23日（木）

受講費 宿泊付き（1泊）：20,000円（学生10,000円）

宿泊なし：15,000円（学生6,000円）

※ 受講費には食費代は含まれません。

※ 2日間通しのワークショップとなるため、2日受講、1日受講の設定はありません。

※ 食事は施設内食堂等が利用できます。

定員 90名（各講座30名）

※ 各会場とも定員になり次第締め切ります。学生の方は学生証コピーを同封またはFaxしてください。

※ 受講対象は教師及び教育関係者、児童相談所相談員、精神保健福祉士、教育相談担当者（カウンセラー・セラピスト・臨床心理士・ケースワーカー・ソーシャルワーカー・社会福祉士・児童委員・医療関係者・学生も可）その他、問題行動にかかわる領域で研究をしている方。

## 申込方法

① パンフレット内の申込書に必要事項を記入のうえ、下記に郵送あるいはFaxで送り下さい。（確認の連絡は致しませんのでご了承下さい）

【申込書 郵送先及びFax送付先】

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 NPO 法人教育研究所

TEL. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742 (<http://kyoken.org/>)

② 申込書送付後、下記いずれかの方法で受講料を振込み下さい。入金が確認され次第、受講証・会場地図・領収書を送ります。入金が遅くなる場合は連絡して下さい。

※ 銀行振り込みの場合、振込み人名と受講者名が違っていると、入金の確認ができない場合があります。その際は申し込み用紙に記入して下さい。

【受講料振込み先】

・銀行振込

みずほ銀行上大岡駅前支店 上永谷出張所(普)8040634

口座名義：特定非営利活動法人 教育研究所 不登校問題研究会

・郵便振替

00230-9-112182 特定非営利活動法人 教育研究所

## 申し込み受講のご注意

① 申込書は楷書で記入して下さい。受講証等の送り先は夏休み中でも確実に受け取りのできる住所をお書き下さい。

② テキスト・資料などは参加受付時に各会場でお渡しいたします。

③ 天災等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても、研修会が開催された場合は参加費の返金はできません。

④ 止むを得ない事情により、講師を変更する場合があります。

⑤ 会場までの交通費、食事代（各会場とも）は各自で負担下さい。

⑥ 東京会場（オリンピックセンター）での宿泊に関しては、オリンピックセンター（03-3469-2525 申込み受付専用）に直接予約して下さい。

⑦ 原則として、入金後の取り消しはできません。

東京会場スケジュール 7月30日(月)～8月3日(金)

日	時間	講師&講座名	講座内容
七月三十日(月)	10:10 ～ 12:00	<b>【長引かせない不登校への対応】</b> オタク型と情緒混乱型への対応を考える NPO 法人教育研究所理事長 牟田 武生	不登校からひきこもりが長期化するオタク型と情緒混乱型。誰でもが出来る見分け方と、本人と保護者への対応の仕方を解説する。また、子どものネット依存の問題にも触れる。『全教員・相談員必修講座』
	13:00 ～ 14:50	<b>【不登校のアセスメントと認知行動療法による具体的なアプローチ方法】</b> 学校環境との折り合いを付け豊かな生活を 筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授 田上 不二夫	不登校を子どもと学校環境との折り合いという視点から理解し、豊かな社会生活の実現という面から、不登校のアセスメントと認知行動療法によるアプローチについて解説し、学校現場での活用方法を日本カウンセリング学会会長から学ぶ。『大好評の講座・全教員・相談員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	<b>【LD・ADHD などの子どもの指導】</b> 軽度発達障害児をどう理解対応するか 東京学芸大学教授 日本LD学会会長 上野 一彦	この問題について我が国を代表する研究者から講義を受ける。LD・ADHD等の子どもの指導についての実際を具体的に分かりやすく講義する。『毎年大好評の講座・教員・保育士・相談員必修講座』
七月三十一日(火)	10:00 ～ 11:50	<b>【児童・生徒の心を理解する学級運営】</b> 一人ひとりの子が輝く教室 早稲田大学人間科学部教授 菅野 純	児童・生徒の心を理解することから教育は始まる。子どもの心を掴み明日の学級運営にヒントを与え、先生に元気が出る講演。講師から元気を貰って、明日の学級運営に生かそう。『大好評の講座、全教員必修講座』
	13:00 ～ 14:50	<b>【教師カウンセラー】</b> 教育を活かすカウンセリングの理論と実践 武庫川女子大学教授 上地 安昭	見え難くなった子どもの心。人間関係のスキル不足の子ども達。時間、人材など限られた学校現場で誰でも活用できるカウンセリング技術の基本を学ぶ。『好評の講座・全教員・相談員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	<b>【自閉症スペクトラム、LD、多動などの心と治療指導の方法】</b> 幼児期と小学校低学年の指導こそ大切 さいたま市教育相談センター所長 金子 保	幼児教育・治療相談の実践研究者から発達障害・問題行動の理解と治療相談の方法を具体的に学ぶ。明日からの幼児教育、学校での支援教育の参考になる。『幼・小担任・相談員必修講座』
八月一日(水)	10:00 ～ 11:50	<b>【特別支援教育と軽度発達障害】</b> 理解と支援に向けて 国立特殊教育総合研究所 教育支援研究部 統合研究官 精神科医 渥美 義賢	軽度の発達障害について医学的なアプローチを試みる我が国を代表する研究者から最新の研究を聞く。最前線の研究を明日の教育に活かす講座。『教員・保育士必修講座』
	13:00 ～ 14:50	<b>【いじめを通して何を教育するのか】</b> 子どもの世界を社会学的な視野で探る 大阪樟蔭女子大学学長 大阪市立大学名誉教授 森田 洋司	相次ぐいじめ自殺、あってはならないことが今、学校で起きている。子ども達がいじめは何を意味するのか？子ども達は教師に、親に、何を語りかけようとしているのか？我が国を代表する社会学者が語る。『幼・小担任・相談員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	<b>【いじめ・不登校を予防する】</b> いじめや不登校の予防をいかにするか 国立教育政策研究所 総括研究官 滝 充	いじめや不登校は予防できる。我が国の代表的な生徒指導の研究者の講師から具体的に学ぶ。明日の生徒指導に必ず役立つ講座。『指導主事・全教員・相談員必修講座』
八月二日(木)	11:00 ～ 12:00	<b>【不登校への対応について】</b> 不登校への対応のあり方 文部科学省初等中等教育局 児童生徒課 課長補佐 北崎 哲章	不登校に対する最新の総合的な取組について、文部科学省の担当官から講義を受ける。減少傾向にある不登校であるが、予断を許さない状況は続いている。一層の減少に向けて今後の対応のあり方を考える。『指導主事・全教員必修講座』
	13:00 ～ 14:00	<b>【子ども達への支援】</b> 虐待防止と児童相談所の働き 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課 専門官 太田 和男	虐待により子どもの尊い命が失われている。子どもの安全確保を最優先とした対応を図るために関連機関の連携を強化することが緊急の課題である。厚生労働省専門官から講義を受ける。『全教員・相談員必修講座』
	14:20 ～ 16:30	<b>【体験者が語る・・・不登校、ひきこもり、ニート】</b> 不登校・ひきこもり・ニート体験から	不登校、ひきこもり、ニートの体験者から学ぶ。彼らの赤裸々の気持ちの理解から、明日の対応の仕方が見えてくる。『毎年大好評の講座・相談員・全教員必修講座』
八月三日(金)	10:00 ～ 11:50	<b>【発達障害と不登校】</b> 臨床現場から考える 前国立特殊教育総合研究所 統括研究官 山形県立上山高等養護学校 学校長 花輪 敏男	教育実践家であり、研究者でもある講師はアイデアマンでもある。学校教育の現場ですぐに活かせる講義は大変好評である。日々考え、歩む姿は教師として生きるモデルでもある。『全教員必修講座』
	13:00 ～ 14:50	<b>【発達障害の子どもや若者と共生・協働するために】</b> 周囲の理解と自己認識の重要性を考える 川崎医療福祉大学特任教授 精神科医 佐々木 正美	人を信じ、自分を信じて生きることは、全ての土台でもあり、哲学でもある。優しい眼差しと心を持つ、我が国を代表する児童精神科医の講師から心が豊かになり、人間理解が深まる講義を聴く。『大好評の講座・全教員必修講座』
	15:10 ～ 17:00	<b>【つまずく若者たち】</b> 思春期臨床の現場から 北の丸クリニック所長 精神科医 (社)青少年健康センター常任理事 倉本 英彦	講師は不登校・ひきこもりを治療する代表的な精神科医。豊富な臨床事例を持つ、教育と医療の連携を含む多くの示唆が得られる。『全教員・相談員必修講座』

**埼玉会場 講座紹介&スケジュール**

**8月22日(水)・8月23日(木)**

埼玉会場は少人数制のワークショップ形式です。申し込み時に講座を選んでいただきます。

オリエンテーションが1コマ、A講座B講座・C講座に分かれて各講師が90分×5コマの講座を受け持ちます。

期間中の講座の変更はできません。各講座とも定員30名の少人数でより専門的に学ぶワークショップです。

A 講座	<b>【自閉症、軽度自閉、多動児、LDの心と発達支援】</b> <b>「様子を見よう」「集団に入れよう」「個性です」は危険</b> <b>幼児期の指導がきわめて効果的</b> さいたま市教育相談センター所長 金子 保 同主任相談員 野口 嵩・相談員 阿部 由紀子	幼児・学校教育・治療教育相談の大ベテランの講師陣から幼児期、小学校低学年での自閉症、軽度の自閉傾向、LD、多動の子の心理、原因を考え、効果の高い治療指導の具体を学ぶ。明日の指導に役立つ講座。 『保育士・小幼教員・園管理者必修講座』	
B 講座	<b>【発達障害障害と不登校…どう具体的に対応するか】</b> <b>それぞれの状態における対応方法を考える</b> 前国立特殊教育総合研究所 統括研究官 山形県立上山高等養護学校 学校長 花輪 敏男	発達障害を抱える子ども達に対する教室でできる具体的な教育支援のあり方を子どもの状態像に応じた指導のあり方を検討する。教育現場で抱える悩みをわかりやすく解決する。 『全教員必修講座』	
C 講座	<b>【タイプ別不登校の対応と学校で抱える不登校へのアドバイス】</b> <b>タイプ判定とその具体的な対応方法、登校刺激のあり方</b> NPO 法人教育研究所理事長 牟田 武生	不登校から起る二次症状の対応方法や登校刺激について、学校現場で抱える悩みを一緒になって考え、保護者と本人に対するアドバイスを具体的にいきます。キーワードは「不登校を長引かせない」。 『適応指導教室、相談員必修講座』	
日程	午 前	午 後 1	午 後 2
8月22日(水)	10:30~ 12:00 オリエンテーション &講座紹介	13:30~ 15:00 各講師による ワークショップ①	15:20~ 16:50 各講師による ワークショップ②
8月23日(木)	10:30~ 12:00 各講師による ワークショップ③	13:30~ 15:00 各講師による ワークショップ④	15:20~ 16:50 まとめと質疑⑤ その後、解散

<b>問題行動研修会申込書 (必要事項を記入し、<input checked="" type="checkbox"/>チェックして下さい)</b>		
☆申し込み日 平成19年 月 日	※受講番号 (記入しないで下さい)	
参加者氏名 (ふりがな)	領収書宛名	
勤務先名	勤務先 所在都道府県名 ( 都・道・府・県)	
受講証送り先を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) して下さい。 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 〒		
連絡先 Tel ( )	Fax ( )	
E-Mail @		
☆希望の会場を <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) して下さい。 <input type="checkbox"/> 東京会場 <input type="checkbox"/> 埼玉会場		
☆東京会場を受講の方は、受講希望日を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 東京会場 <input type="checkbox"/> 7/30 <input type="checkbox"/> 7/31 <input type="checkbox"/> 8/1 <input type="checkbox"/> 8/2 <input type="checkbox"/> 8/3		
☆埼玉会場を受講の方は、希望講座及び宿泊希望の有無を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 希望講座 <input type="checkbox"/> A講座 (担当 金子 保) <input type="checkbox"/> B講座 (担当 花輪 敏男) <input type="checkbox"/> C講座 (担当 牟田 武生) 宿泊 <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない		
☆申込書送付方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい。 <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> Fax	☆支払方法を <input checked="" type="checkbox"/> して下さい <input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替	☆振込金額をお書き下さい 円

※ この研修会への参加を契機に、是非それぞれの地域で連携、交流を深め、お互いの取組の質を高める目的で参加者名簿を配布します。名簿は名前と勤務先名のみが表示ですが、名簿の掲載を望まれない方は次のをチェックして下さい。  
(名簿の掲載を望まない )

**【申込書 郵送先及びFax送付先】**

〒233-0013 横浜市港南区丸山台2-26-20 NPO 法人教育研究所  
Tel. 045-848-3761(代) Fax. 045-848-3742